

*まんまワフより

() に適当な語句を入れるか、または選びなさい。 <4点×25> (体温) 度

- (1) 1種類の物質が2種類以上の別の物質に分かれる化学変化を①() という。加熱による①を、特に②() という。
- (2) 炭酸水素ナトリウムは①(白い・黒い) 粉末で、水に溶け②(にくい・やすい)。
- (3) 炭酸水素ナトリウムを加熱すると、試験管の口に液体の①() がたまる。①ができたことは、試験管の口に②() 紙をつけると、③(赤・青) 色が④(赤・青) 色に変化することからわかる。
- (4) 炭酸水素ナトリウムを加熱すると、気体の①() が発生する。①ができたことは、発生した気体を石灰水に通すと、②(赤く・白く) にごることからわかる。
- (5) 炭酸水素ナトリウムを加熱して、試験管に残った白い物質は①() である。この物質は水に②(よく・少し) 溶け、無色のフェノールフタレイン溶液を加えると、濃い③() 色になることから、この物質の水溶液は強い④() 性であることがわかる。
- (6) 試験管の口は、発生した水が試験管の①(口・底) の方に流れないように、少し②(上げる・下げる)。
- (7) 石灰水からガラス管を抜くのは、火を(消す前・消した後) に行う。
- (8) 酸化銀は①(白・黒) 色の粉末である。酸化銀を加熱すると②(白・黒) 色の③() ができる。③が金属であることは、こするとびかびか④() こと、たたくとうすく⑤() こと、⑥() をよく通し、熱をよく伝えることからわかる。
- (9) 酸化銀を熱して発生する気体は①() である。①が発生したことは、火のついた線香を入れると、②(激しく燃える・消える) ことからわかる。